

様式1

主任技術者の兼務承認申請書

(発注者) 福 井 市 長

所 在 地
商号又は名称
代 表 者

㊞

下記対象工事について、他の工事に従事している主任技術者を配置したいため、下記のとおり申請します。

記

技 術 者 氏 名		(フリガナ)	
対 象 工 事	工 事 名		
	施 工 場 所		
	落 札 金 額 (税 込)		
	工 事 着 手 予 定 日		
他 工 事 従 事 状 況	工 事 名		
	施 工 場 所		
	発 注 機 関 名		
	請 負 契 約 金 額		
	工 期		
	工 事 概 要		
	兼 務 申 請 理 由	(理由番号)	(具体的な内容)
	対 象 工 事 と の 距 離	k m	
CORINS 登 録 の 状 況	未登録 ・ 申請中 ・ 登録済		
現 場 代 理 人 の 兼 務 状 況	あり ・ なし		

(他工事発注機関の承認欄)

上記内容について承認します。

印

(表面)

(添付書類)

- 1 申請にあたっては、当該申請書に、兼務させようとする他工事の施工場所及び工事概要がわかる書面（位置図、工事設計書等）を添付すること。
- 2 他工事発注機関に承認を受ける際には、他工事発注機関に対し、対象工事の施工場所及び工事概要がわかる書面を提示すること。

(記載要領)

- 1 「対象工事」は、今回、主任技術者を兼務させようとする工事について記載すること。
- 2 「工事着手予定日」は、契約書上の着手日ではなく、実際の工事のための準備工事（現場事務所等の建設又は測量を開始することをいう。）の初日をいう。
- 3 「他工事従事状況」は、既に主任技術者として配置している工事の概要を記載すること。
※監理技術者として従事している場合、兼務は認めない。
- 4 「兼務申請理由」は、今回の申請理由について次のいずれか該当するものの番号とその具体的な内容を記載すること。
 - ①：工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事であるため
 - ②：施工にあたり相互に調整を要する工事であるため
- 5 「対象工事との距離」は、対象工事との直線距離を記載すること。
- 6 「CORINS登録の状況」は、該当する状況に「○」を付けること。
- 7 「現場代理人の兼務状況」は、該当する状況に「○」を付けること。
- 8 「他工事発注機関の承認欄」は、他工事の発注機関（福井市を含む。）に内容の確認を依頼し発注機関の記名、押印を行うこと。

(留意事項)

- 1 専任の主任技術者の兼務が認められるのは、以下の全てに該当し、発注者が工事の品質及び安全性が確保されると判断した場合に限る。
 - (1) 工事の対象となる工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事又は施工にあたり相互に調整を要する工事であること。
 - (2) 工事現場の相互の間隔（近距離）が10km以内の近接した場所であること。
 - (3) 兼務できる工事は、専任が必要な工事を含む場合は、原則2件までとする。
- 2 申請前に、必ず契約課（企業局は経営管理課）にて技術者の重複確認をすること。
- 3 申請書は開札後、速やかに工事担当課に提出し承認を得、契約を締結すること（契約時に兼務承認申請書の写しを提出）。